

記載の内容の訂正とお詫び（正誤表）

2017年4月26日 作成

2018年1月25日 更新

「平成28年度国際漁業資源の現況」の冊子版において、記載内容に誤りがございました。皆様にご迷惑をおかけしますことをお詫び申し上げます。誤りの部分につきましては、下記のとおり正誤表により訂正いたします。

| ページ | 箇所 | 誤 | 正 |
|-----|--|---|---|
| 2 | クロマグロ 太平洋 管理目標 | WCPFCにおいては、親魚資源量を2015年からの10年間で歴史的中間値（約4.1万トン）まで回復させることを当面の目標とする | 親魚資源量を2024年までに、少なくとも60%の確率で歴史的中間値（約4.1万トン）まで回復させることを暫定回復目標とする |
| 3 | ビンナガ 北太平洋 管理措置 | ・漁業がないと仮定して推定した現在の資源量の20%を下回らないよう漁業を管理（WCPFC、2014年） | ・漁業がないと仮定して推定した現在の資源量の20%を下回らないよう漁業を管理（WCPFC、2014年） ・漁獲努力量を現行水準未満に抑制（IATTC、2005年） |
| 3 | ビンナガ 北大西洋 管理措置 | TAC：2.8万トン | （削除） |
| 3 | キハダ 中西部太平洋 資源の状態 | SB ₂₀₀₈₋₂₀₁₁ /SB _{MSY} =1.37 C ₂₀₁₂ /MSY=1.02 | SB ₂₀₀₈₋₂₀₁₁ /SB _{MSY} =1.37 F ₂₀₀₈₋₂₀₁₁ /F _{MSY} =0.72 C ₂₀₁₂ /MSY=1.02 |
| 5 | ミナミマグロ 管理措置 | TACの設定：2015～2017年漁期のTACは毎年14,647トン（日本4,737トン） | TACの設定：2017年漁期のTACは14,647トン（日本4,737トン）、2018～2020年漁期のTACは毎年17,647トン（日本6,165トン） |
| 6 | ヨシキリザメ 北大西洋 最近5年間の 漁獲量・捕獲量 | 日本：1,227～3,369トン | 日本：1,227～4,076トン |
| 6 | アオザメ 北太平洋 管理機関・関係機関 | IATTC, WCPFC | IATTC, WCPFC, ISC |
| 8 | ニシネズミザメ 南大西洋 最近5年間の 漁獲量・捕獲量 | 日本：7～26トン | 日本：4～25トン |
| 8 | ニシネズミザメ その他南半球 最近5年間の 漁獲量・捕獲量 | 日本：16～55トン | 日本：12～42トン |

| | | | |
|----|-------------------------------|---------------------------------------|---|
| 8 | クロトガリザメ 最近5年間の 漁獲量・捕獲量 | 日本：1～4トン | 日本：1～12トン |
| 8 | ツチクジラ 最近5年間の 漁獲量・捕獲量 | 日本：61～71頭 | 日本：57～71頭 |
| 9 | ニシネズミザメ その他南半球 次回の資源評価年 | 2019年 | 2017年 |
| 10 | クサカリツボダイ 管理目標 | 産卵親魚確保による加入の促進と漁獲の安定 | 加入強度に応じた漁獲上限調節（順応的管理） による産卵親魚の確保と漁獲の安定 |
| 12 | 大西洋クロマグロ 東大西洋 繁殖期・繁殖場 | 地中海、ビスケー湾等、北緯35度以北の大西洋 | 6～8月 マジョルカ島からシチリア島にかけての地中海 |
| 12 | 大西洋クロマグロ 西大西洋 繁殖期・繁殖場 | 北緯35度以北の大西洋 | 5～6月 メキシコ湾 |
| 12 | ビンナガ 南太平洋 繁殖期・繁殖場 | 南緯30～45度 | 10～2月（南半球の春・夏季） 中・西部熱帯～亜熱帯海域 |
| 13 | 大西洋クロマグロ 東大西洋 索餌場・索餌期 | 北緯35度以北の北大西洋 | 北緯35度以北の大西洋 |
| 13 | 大西洋クロマグロ 西大西洋 索餌場・索餌期 | 北緯35度以北の北大西洋 | 北緯35度以北の大西洋 |
| 13 | ビンナガ 南太平洋 索餌場・索餌期 | 南緯25～45度 | 南緯30～45度 |
| 13 | ジンベエザメ 捕食者 | 調査中 | シャチ、ニシマカジキ |
| 14 | ツチクジラ 繁殖期・繁殖場 | 調査中 交尾期：10～11月、出産期：3～4月 | 交尾期：10～11月、出産期：3～4月 繁殖場：調査中 |
| 16 | ICCAT 設立 | 1966年 | 1969年 |
| 16 | NAFO 水域 | 北緯35度以西の北西大西洋 | 概ね北緯35度以北、西経42度以西の北西大西洋 |
| 18 | NPAFC 水域 | 各国の領海の基線から200海里の外側の北緯33度以北の北太平洋及び接続水域 | 北太平洋とその付属海のうち、北緯33度より北で、各沿岸国の200海里以遠の海域 |
| 18 | SEAFO 魚種 | 条約適用水域における全ての漁業資源（ただし、カツオ、マグロ等の | 条約適用水域におけるすべての漁業資源（ただし、かつお、まぐろ等の |

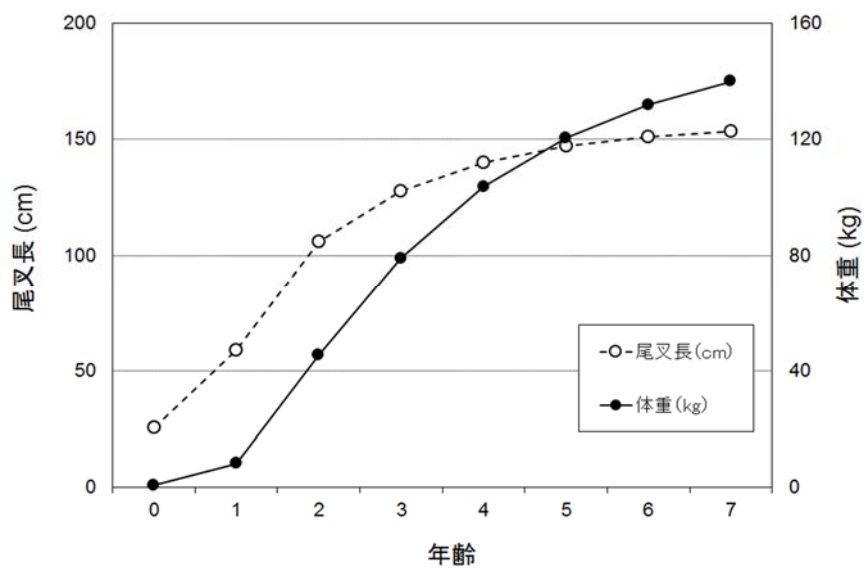
| | | | |
|----|----------------|---|---|
| 31 | 1. (1) 15 行目 | (Tanaka 2008、佐藤 2013)。 | (Tanaka <i>et al.</i> 2008、佐藤 2013)。 |
| 33 | 4. (3) 22 行目 | (SS ; 竹内 2006、Method and Wetzel 2013) | (SS ; 竹内 2006、 Method and Wetzel 2013) |
| 35 | 27 行目 | Method, R.D., and Wetzel, C.R. 2013 | Method , R.D., and Wetzel, C.R. 2013 |
| 43 | 左下図 | 太平洋クロマグロの親魚資源量 (1952~2012 年) (上図) と加入量 (1952~2012 年) (下図) のトレンド 赤色の実線が最尤法による点推定値、マーク付の実線、上下の点線がパラメトリックブートストラップ法により計算した結果の中央値と 90%信頼区間の端点。2012 年 (資源評価の最近年) の加入量の推定値は、推定精度が低いため、資源評価では使用されていない。(ISC での 2014 年の資源評価の出力を編集した) | 太平洋クロマグロの親魚資源量 (1952~ 2014 年) (上図) と加入量 (1952~ 2014 年) (下図) のトレンド 赤色の実線は最尤法による点推定値、上下の点線はパラメトリックブートストラップ法により計算した 90%信頼区間の端点。2014 年 (資源評価の最近年) の加入量の推定値は推定精度が低いため、資源評価では使用されていない。(ISC による公表値に基づく) |
| 43 | 右下図 | 太平洋クロマグロの親魚資源量 (1952~2014 年) (上図) と加入量 (1952~2014 年) (下図) のトレンド 赤色の実線は最尤法による点推定値、上下の点線はパラメトリックブートストラップ法により計算した 90%信頼区間の端点。2014 年 (資源評価の最近年) の加入量の推定値は推定精度が低いため、資源評価では使用されていない。(ISC による公表値に基づく) | 加入水準の仮定 (上図) 及び漁獲管理措置 (下図) の違いによる親魚資源量の将来予測結果の比較 グラフはシナリオごとの 6 千回のシミュレーション結果の中央値であり、計算結果の半数はこれよりも低い。両図中の破線は、資源評価期間 (1952~2014 年) における歴史的中間値 (約 4.1 万トン)。下図における加入水準は、80 年代の低レベルを仮定。(図は ISC 評価結果に基づき水産庁監修の下編集) |
| 51 | 要約表 世界の漁獲量 | 平均 : 8.2 万トン (2010~2014 年) | 平均 : 7.0 万トン (2011~2015 年) |
| 53 | 左上図 | インド洋ビンナガの国別漁獲量 (1950~2014 年) (IOTC データベース : 2015 年 9 月) | インド洋ビンナガの国別漁獲量 (1950~ 2015 年) (IOTC データベース : 2016 年 9 月) |
| 53 | 左中図 | インド洋ビンナガの漁法別漁獲量 (1950~2014 年) (IOTC データベース : 2015 年 9 月) | インド洋ビンナガの漁法別漁獲量 (1950~ 2015 年) (IOTC データベース : 2016 年 9 月) |
| 57 | 左上図 | 点線は Bard and Compean-Jimenz (1980) | 点線は Bard and Compean- Jimenez (1980) |
| 57 | 要約表 我が国の漁獲量 | 1,129~2,019 トン 最近 (2015) 年 : 1,761 トン 平均 : 1,862 トン (2011~2015 年) | 1,129~ 3,106 トン 最近 (2015) 年 : 1,761 トン 平均 : 2,019 トン (2011~2015 年) |
| 60 | 右下図 | (図 : 欄外 上) | (図 : 欄外 下) |
| 63 | 左下図 | SS3 による資源評価結果 (神戸プロット) (IOTC 2015) | SS3 による資源評価結果 (神戸プロット) (IOTC 2016) |

| | | | |
|-----|----------------|---|--|
| 67 | 管理方策のまとめ | まき網漁業：62日間の全面禁漁。沖合特定区での1か月間禁漁。 | まき網漁業：62日間の全面禁漁。沖合特定区での1か月間禁漁。 漁獲上限導入（FAD操業、イルカ巻き操業）。 |
| 69 | 要約表 世界の漁獲量 | 3.4万～16.3万トン | 13.4万～16.3万トン |
| 71 | 管理方策のまとめ | FADs数を1隻550基までに制限。 | 支援船の数はまき網船の半数を超えず、FAD数は同時に稼働する数が425基、年間の取得数が850基までに制限。 |
| 75 | 管理方策 2行目 | 管理方式事前に定められた方式 | 管理方式（事前に定められた方式 |
| 77 | 下図 | プロダクションモデル解析の結果 | 中西部太平洋系群（上図）と東部太平洋系群（下図）のプロダクションモデル解析の結果 |
| 77 | 下図 | （図：欄外 上） | （図：欄外 下） |
| 97 | 要約表 我が国の漁獲量 | 500～2,200トン | 522～2,153 トン |
| 98 | 漁獲の動向 6行目 | 2012年は26.2万トンと歴史的に最も多い漁獲量を記録し、 | 2013年は25.5万トンと歴史的に最も多い漁獲量を記録し、 |
| 111 | 要約表 我が国の漁獲量 | 北大西洋（赤道以北） 11,227～4,076トン | 北大西洋（赤道以北） 1,227～4,076 トン |
| 114 | 漁業の特徴 15行目 | このように、1950年代まではビタミンAの原材料として肝油を得るためにかなり積極的に本種が漁獲されてきたが、その後、合成ビタミンAの普及、価格低下などにより需要は大きく減少したと考えられ、アブラツノザメ漁獲量の増減は努力量の質的变化や操業パターンの変化によるものと思われる。近年の本種の漁獲は、アブラツノザメを漁獲対象として一部地域で行われている小規模漁業によるところが大きい。 | （削除） |
| 115 | 管理方策のまとめ | ■管理目標及び管理措置は検討中である。 ■漁業者による自主的な取り組みが行われている。 | ■なし（漁業者による自主的な取組は実施中） |
| 115 | 要約表 （欄外補足） | ※漁獲量は全国のおさめ類漁獲量と過去のおさめ類に占めるアブラツノザメの平均的な割合から推定した値（2014年は暫定値） | ※漁獲量は全国のおさめ類漁獲量と過去のおさめ類に占めるアブラツノザメの平均的な割合から推定した値（ 2015 年は暫定値） |
| 125 | 参考文献 右10行目 | Romeo-Caicedo, A. F., | Romero-Caicedo, A. F. |
| 125 | 要約表 世界の漁獲量 | 平均：15,271トン | 平均： 15,906 トン |
| 138 | 表1 | （IUCN 2014による） | （IUCN 2016 による） |
| 139 | 表2 | （IUCN 2014による） | （IUCN 2016 による） |
| 139 | 表2 | （表：欄外 上） | （表：欄外 下） |

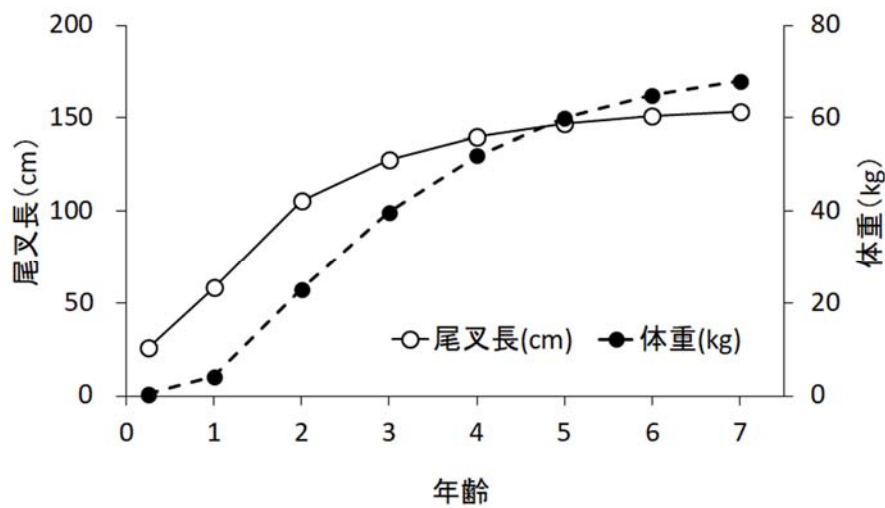
| | | | |
|-----|-----------------|--|--|
| 140 | 図 2 | 南大洋で使用されているトリライン | トリライン |
| 145 | 背景 | 現在、ノルウェー及びアイスランドを除く IWC 加盟国が行うことができる鯨類の捕獲活動は、アラスカ・イヌイト他に許された先住民生存捕鯨、IWC 管轄外の種を利用する小型捕鯨及びイルカ漁業、そして国際捕鯨取締条約第 8 条に基づく特別許可の下での捕鯨調査（捕獲調査）のみである。 | (削除) |
| 150 | 引用文献 右 30 行目 | Ykonezaki, S. and | Yonezaki, S. and |
| 152 | 表 1 | (表：欄外 上) | (表：欄外 下) |
| 154 | 表 2 | 漁業対象資源の資源量推定値 | 主な小型鯨類の資源量推定値 |
| 161 | 資源状態 5 行目 | 高位にあると判断できる。近年の IWC による RMP 適用試験では、系群構造仮説や資源増加率の仮定などにより、資源状態に対する一致した結論は得られていない。 | 高位にあると判断された。一方、2013 年に終了した第 2 回目の RMP 適用試験の結果では、下記のように系群仮説の問題から一致した結論が得られなかったものの、基本的な 6 つのケースの平均で、我が国太平洋岸では年間 17 頭の捕獲枠が試算され、初期資源量に対する割合は、少なくともこれらのケースでは、RMP のもとで捕獲枠が算出される 54%以上にあることが示された。 |
| 164 | 生物学的特性 | ■その他：近年、本種を | ■その他：我が国周辺には太平洋沖合に分布する西部北太平洋系群と東シナ海～四国沿岸に分布し体サイズがやや小さい東シナ海系群が知られる。2003 年以降、本種を |
| 167 | 管理方策のまとめ | ■生態的に競合する鯨種間の関係の解明がさらに必要。 | ■生態的に競合する鯨種間の関係の解明がさらに必要。 ■資源動向モニタリングの継続が必要。 |
| 169 | 左図 | (1910～2014 年) | (1910～2015 年) |
| 171 | 管理方策のまとめ | ■当面の目標は、現状の維持（仙台湾から房総半島東岸にかけての海域ではもとの水準への回復）。 | ■当面の目標は、現状の維持（仙台湾から房総半島東岸にかけての海域ではもとの水準への回復）。 ■目視調査で資源量と分布状況をモニタリング。 |
| 175 | 資源状態 1 行目 | 以西の西部系群のうち | アラスカのサックリング岬（西経 144 度）以东の東部系群は 1970 年代半ば以降年率約 3% で増加傾向にある。同岬以西の西部系群のうち |

| | | | |
|-----|----------------|--|--|
| 178 | 右1行目 | 2015年漁期は約3.7万トン、2016年漁期は9月下旬で4.1万トンに達している4.1万トンに達している。地域別に見ると、 | 2015年は約4.5万トンと2013年に次ぐ水準を記録したが、2016年漁期の9月下旬の集計値は約5.0万トンと既に2015年を上回っている。地域別に見ると、 |
| 180 | 参考文献 29行目 | 森田健太郎・、大熊一正・ | 森田健太郎・高橋 悟・大熊一正・ |
| 180 | 参考文献 40行目 | Fukuzawa H. and Y. Hirabayashii. 2016. | Fukuzawa H. and Y. Hirabayashi. 2016. |
| 183 | 右上図 | 日本系カラフトマスの来遊漁獲数と2年前の9月の降水量の関係 | 日本系カラフトマスの資源増加率と卵仔魚期(1~2月)及び稚魚降下期(5月)の気温との関係 |
| 184 | 漁獲の動向 4行目 | (2011~2015年)の漁獲量は | 最近5年間(2011~2015年)の漁獲量は |
| 186 | 右7行目 | (水産庁・水産総合研究センター 2016)。 | (水産庁 水産研究・教育機構 2016)。 |
| 187 | 米国水域 10行目 | 2014年には132万トンとなった | 2015年には132万トンとなった |
| 192 | 管理・関係機関 | 水産庁・国立研究開発法人水産総合研究センター | 水産庁 水産研究・教育機構 |
| 201 | 資源状態 8行目 | 低い値が続いていたが、2014年は | 低い値が続いていたが、2015年は |
| 201 | 資源状態 14行目 | (2010~2014年)の資源量の推移から | (2011~2015年)の資源量の推移から |
| 212 | 最近の動き 2行目 | 2016年漁期もなかった。 | 2016年漁期もなかった。 |
| 213 | 資源状態 | 本資源の大部分はアルゼンチン EEZ 及び英国領フォークランド FICZ 海域内に分布し、管理上は便宜的に南緯44度線で区切って、南方資源と北方資源に分けて異なる管理方策をとっている。北方資源は、実質アルゼンチンのみが管理し、前年の漁獲実績による入漁隻数制限と漁期制限(5月1日~8月31日まで)による努力量管理方策を実施している。一方、南方資源は、SAFCに基づき英ア二国が共同で、前年の漁獲実績による入漁隻数制限と解禁日(2月1日)制限による努力量管理のほかに、再生産管理を実施している。再生産管理とは、本種が単年性(年魚)であり、世代が重複することがないことから、ある年の資源はすべて前年の産卵親イカから生まれてくる再生産関係がある程度成立すると仮定し、来漁期の資源に回す親を一定量確保する施策である。相対逃避率(目標値40%)に加え、絶対逃避量(4万トン)を設定し、漁獲量を管理している。 | アルゼンチン政府が公表しているアルゼンチン EEZ 内の月別の漁獲量の変遷をみると、2009~2012年にかけての低い水準から、2013年以降にかけて増加傾向が示され、2014年、2015年に豊漁となった。しかし、2016年には来遊資源が減少し、アルゼンチン EEZ 内の漁獲量は集計が終わっている8月までの月別漁獲量は低く推移している。操業データに基づく CPUE など近年の資源水準を示すデータは公表されていない。しかし総漁獲量がおよその資源水準を表すと考えると、2000年以降、わずかに数年間で年間漁獲量が20万トンから100万トンまで変化し、近年の資源変動が極めて激しく不安定になっていることを示し、推測される2016年の総漁獲量の激減から、現在の資源状態は低位と判断される。 |
| 219 | 要約表 我が国の漁獲量 | 平均:0.3万トン(2011~2015年) | 平均:0.3万トン(2011~2015年) (ただし、2012年(2012/13漁期)より操業なし) |

(誤)

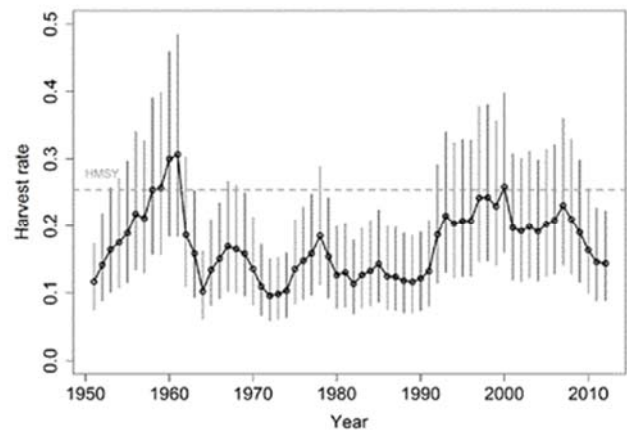
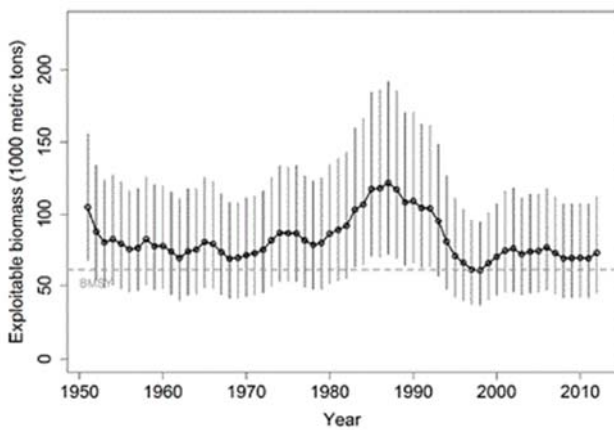


(正)

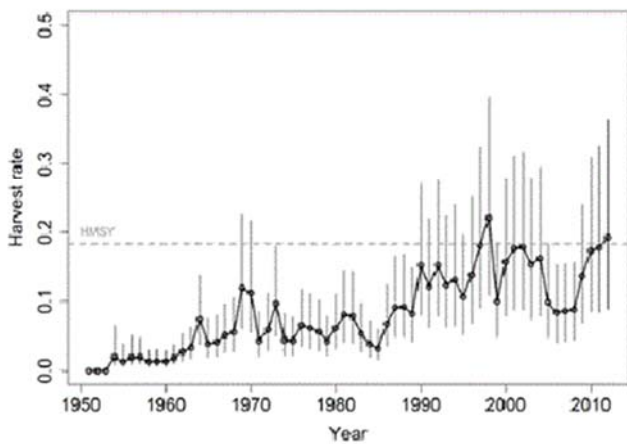
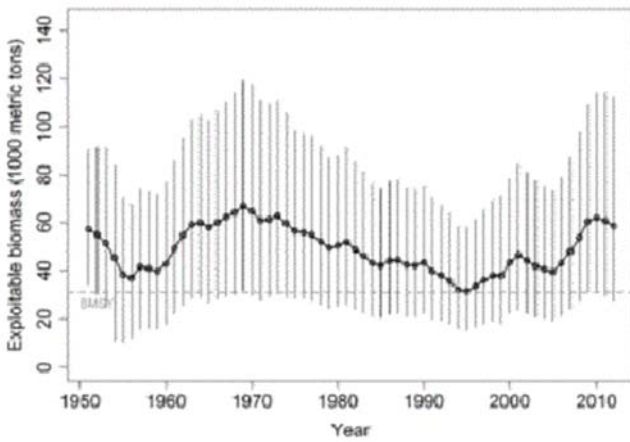
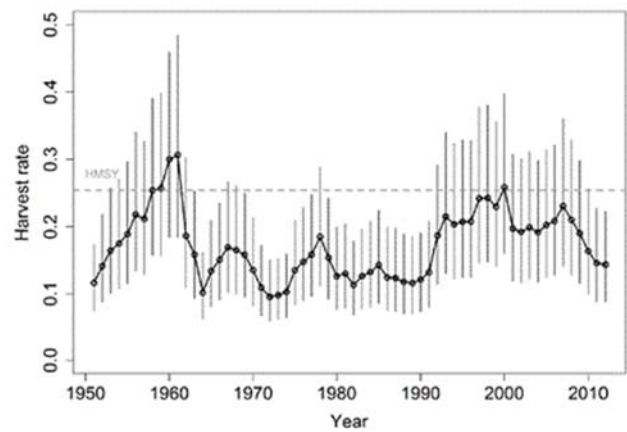
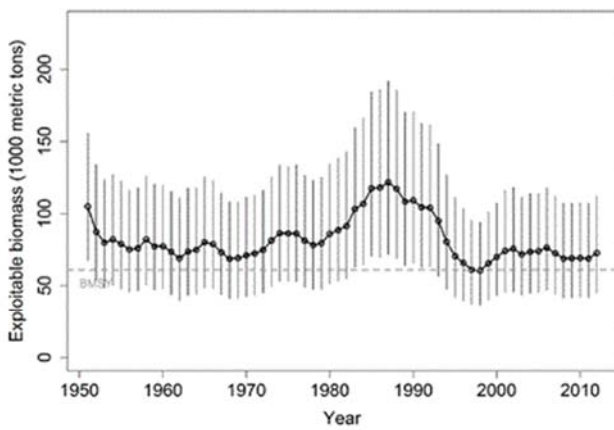


P. 77 「メカジキ 北太平洋」 下図

(誤)



(正)



P. 139 「海鳥類の偶発的捕獲とその管理（総説）」

(誤)

| 分類 | 和名・英名・学名 | つがい数 | 推定総個体数 | 増減傾向 | IUCN 判定 |
|-----------|---|-----------|------------------------|------|---------|
| オオフルマカモメ類 | オオフルマカモメ <i>Southern giant-petrel</i> <i>Macronectes giganteus</i> | 46,800 | 150,000 | ↗ | LC |
| | カッシュクオオフルマカモメ <i>Northern giant-petrel</i> <i>M. halli</i> | 12,160 | 21,000 | ↗ | LC |
| ミズナギドリ類 | ノジロクロミズナギドリ <i>White-chinned petrel</i> <i>Procellaria aequinoctialis</i> | 1,200,000 | 3,000,000 ^a | ↘ | VU |
| | オオハイロミズナギドリ <i>Grey petrel</i> <i>P. cinerea</i> | 80,000 | 400,000 | ↘ | NT |
| | アカアシミズナギドリ <i>Flesh-footed shearwater</i> <i>Puffinus carneipes</i> | ? | 650,000 | → | LC |

(正)

| 分類 | 和名・英名・学名 | つがい数 | 推定総個体数 | 増減傾向 | IUCN判定 |
|-----------|---|-----------|------------------------|------|--------|
| オオフルマカモメ類 | オオフルマカモメ <i>Southern giant-petrel</i> <i>Macronectes giganteus</i> | 46,800 | 150,000 | ↗ | LC |
| | カッシュクオオフルマカモメ <i>Northern giant-petrel</i> <i>M. halli</i> | 12,160 | 21,000 | ↗ | LC |
| ミズナギドリ類 | ノジロクロミズナギドリ <i>White-chinned petrel</i> <i>Procellaria aequinoctialis</i> | 1,200,000 | 3,000,000 ^a | ↘ | VU |
| | オオハイロミズナギドリ <i>Grey petrel</i> <i>P. cinerea</i> | 80,000 | 400,000 | ↘ | NT |
| | アカアシミズナギドリ <i>Flesh-footed shearwater</i> <i>Puffinus carneipes</i> | ? | 650,000 | → | LC |
| | オオミズナギドリ <i>Streaked shearwater</i> <i>Calonectris lecomelas</i> | ? | 3,000,000 | ↘ | NT |

*a: 未成熟個体を含まない成鳥のみの個体数

増減傾向: ↗増加、→安定、↘減少、?不明

IUCN判定: CR(Critically endangered絶滅危惧IA類)、EN(Endangered絶滅危惧IB類)、VU(Vulnerable絶滅危惧II類)、NT(Near threatened準絶滅危惧)、LC(Least concern 軽度懸念)

P. 152 「小型鯨類の漁業と資源調査（総説）」

(誤)

| 漁法 | 根拠地 | 鯨種 | 捕獲枠 | 2005年 | 2006年 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | |
|--------|---------|----------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|----------|---------|---------|----------|---|
| 小型捕鯨 | 北海道 | ツチクジラ | | 14 | 12 | 14 | 13 | 14 | 14 | 30 | 14 | 14 | 14 | 12 | |
| | | 宮城県 | ツチクジラ | 26 | 25 | 27 | 25 | 27 | 26 | 5 | 31 | 26 | 26 | 21 | |
| | 千葉県 | タッパナガ | 22 | 7 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 和歌山県 | マゴンドウ | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 22 | 30 | 24 | |
| | 和歌山県 | オキゴンドウ | 1 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | 1 | 5 | |
| | | マゴンドウ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 3 | - | |
| | | ハナゴンドウ | 24 | 10 | 16 | 20 | 22 | 10 | - | 15 | 10 | 2 | 15 | | |
| | 追込 | 静岡県 | スジイルカ | 7/0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | | ハンドウイルカ | 39/34 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | | マダライルカ | 45/0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| オキゴンドウ | | | 10/10 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| カマイルカ | | | 36/36 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 和歌山県 | | マゴンドウ | 117/132 | 40(2) | 198(8) | 243(5) | 99(1) | 219(1) | - | 74(6) | 172(7) | 88(1) | 41(2) | 80(1) | |
| | | スジイルカ | 450/450 | 397(2) | 479 | 384 | 535(5) | 321 | 458(2) | 406(8) | 508(2) | 498(1) | 367 | 353 | |
| | | ハンドウイルカ | 462/414 | 285(36) | 285(80) | 300(77) | 297(57) | 352(98) | 395(168) | 76(25) | 186(131) | 190(84) | 172(78) | 181(116) | |
| | | ハナゴンドウ | 256/251 | 340 | 232 | 312(8) | 216(8) | 336(8) | 271(10) | 273(17) | 188(24) | 298(12) | 260(7) | 211(6) | |
| | | マダライルカ | 400/400 | - | 400(13) | - | 329(6) | - | 125(16) | 106(2) | 98 | 126(45) | 145(35) | 59(9) | |
| 突棒 | 北海道 | オキゴンドウ | 70/70 | - | 30(24) | - | - | - | - | 17(10) | - | - | - | - | |
| | | カマイルカ | 134/134 | - | - | - | 21(16) | 14(13) | 27(17) | 24(21) | 2(2) | 39(29) | 5(4) | 7(6) | |
| | 青森県 | イシイルカ | 1,037/985 | 1,240 | 719 | 841 | 467 | 308 | 116 | - | - | - | - | - | |
| | | リックゼンイルカ | 74/71 | 51 | 44 | 44 | 66 | - | 2 | - | - | - | - | - | |
| | 岩手県 | イシイルカ | 2/0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | イシイルカ | 4,980/4,732 | 5,394 | 3,312 | 2,975 | 1,947 | 1,362 | 1,140 | 89 | 29 | 77 | 14 | 11 | |
| | 宮城県 | リックゼンイルカ | 5,866/5,617 | 7,733 | 7,758 | 7,243 | 4,566 | 7,767 | 3,532 | 1,855 | 376 | 1,198 | 1,588 | 1,549 | |
| | | カマイルカ | 154/154 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | 千葉県 | イシイルカ | 193/183 | 246 | 181 | 254 | 180 | 103 | - | - | - | 18 | 2 | 4 | |
| | | リックゼンイルカ | 212/212 | - | - | - | - | - | 129 | 8 | - | - | 32 | 28 | |
| 和歌山県 | スジイルカ | 8/0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | ハナゴンドウ | 213/209 | 46 | 105 | 185 | 122 | 94 | 126 | 104 | 52 | 38 | 103 | 13 | | |
| 和歌山県 | スジイルカ | 100/100 | 60 | 36 | 86 | 65 | 98 | 100 | 96 | 94 | 67 | 63 | 22 | | |
| | ハンドウイルカ | 52/47 | 66 | 75 | 97 | 93 | 77 | 38 | 40 | 73 | 68 | 35 | 43 | | |
| 和歌山県 | マダライルカ | 70/70 | 13 | 5 | 16 | - | 3 | 7 | 2 | 12 | 4 | 18 | - | | |
| | カマイルカ | 36/36 | - | - | - | - | 7 | - | - | 2 | - | - | - | | |
| 和歌山県 | マゴンドウ | 34/34 | 90 | 56 | 79 | 62 | 54 | 34 | 46 | 25 | 47 | 18 | 9 | | |
| | ハンドウイルカ | 5/5 | 10 | 12 | 4 | 1 | 4 | 1 | 3 | 3 | 3 | - | - | | |
| 和歌山県 | オキゴンドウ | 20/20 | 1 | 5 | 4 | 5 | 1 | - | 3 | - | - | - | 1 | | |

(正)

| 漁法 | 根拠地 | 鯨種 | 捕獲枠 | 2005年 | 2006年 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 | 2012年 | 2013年 | 2014年 | 2015年 | |
|--------|---------|----------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| 小型捕鯨 | 北海道 | ツチクジラ | | 14 | 12 | 14 | 13 | 14 | 14 | 30 | 14 | 14 | 14 | 12 | |
| | | 宮城県 | ツチクジラ | 26 | 25 | 27 | 25 | 27 | 26 | 5 | 31 | 26 | 26 | 21 | |
| | 千葉県 | タッパナガ | 22 | 7 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 和歌山県 | マゴンドウ | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 22 | 30 | 24 | |
| | 和歌山県 | オキゴンドウ | 1 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | 1 | 5 | |
| | | マゴンドウ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 3 | - | |
| | | ハナゴンドウ | 24 | 10 | 16 | 20 | 22 | 10 | - | 15 | 10 | 2 | 15 | | |
| | 追込 | 静岡県 | スジイルカ | 7/0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | | ハンドウイルカ | 39/34 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | | マダライルカ | 45/0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| オキゴンドウ | | | 10/10 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| カマイルカ | | | 36/36 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 和歌山県 | | マゴンドウ | 117/132 | 40 | 198 | 243 | 99 | 219 | - | 74 | 172 | 88 | 41 | 80 | |
| | | スジイルカ | 450/450 | 397 | 479 | 384 | 535 | 321 | 458 | 406 | 508 | 498 | 367 | 353 | |
| | | ハンドウイルカ | 462/414 | 285 | 285 | 300 | 297 | 352 | 395 | 76 | 186 | 190 | 172 | 181 | |
| | | ハナゴンドウ | 256/251 | 340 | 232 | 312 | 216 | 336 | 271 | 273 | 188 | 298 | 260 | 211 | |
| | | マダライルカ | 400/400 | - | 400 | - | 329 | - | 125 | 106 | 98 | 126 | 145 | 59 | |
| 突棒 | 北海道 | オキゴンドウ | 70/70 | - | 30 | - | - | - | - | 17 | - | - | - | - | |
| | | カマイルカ | 134/134 | - | - | - | 21 | 14 | 27 | 24 | 2 | 39 | 5 | 7 | |
| | 青森県 | イシイルカ | 1,037/985 | 1,240 | 719 | 841 | 467 | 308 | 116 | - | - | - | - | - | |
| | | リックゼンイルカ | 74/71 | 51 | 44 | 44 | 66 | - | 2 | - | - | - | - | - | |
| | 岩手県 | イシイルカ | 2/0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | イシイルカ | 4,980/4,732 | 5,394 | 3,312 | 2,975 | 1,947 | 1,362 | 1,140 | 89 | 29 | 77 | 14 | 11 | |
| | 宮城県 | リックゼンイルカ | 5,866/5,617 | 7,733 | 7,758 | 7,243 | 4,566 | 7,767 | 3,532 | 1,855 | 376 | 1,198 | 1,588 | 1,549 | |
| | | カマイルカ | 154/154 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | 千葉県 | イシイルカ | 193/183 | 246 | 181 | 254 | 180 | 103 | - | - | - | 18 | 2 | 4 | |
| | | リックゼンイルカ | 212/212 | - | - | - | - | - | 129 | 8 | - | - | 32 | 28 | |
| 和歌山県 | スジイルカ | 8/0 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | | |
| | ハナゴンドウ | 213/209 | 46 | 105 | 185 | 122 | 94 | 126 | 104 | 52 | 38 | 103 | 13 | | |
| 和歌山県 | スジイルカ | 100/100 | 60 | 36 | 86 | 65 | 98 | 100 | 96 | 94 | 67 | 63 | 22 | | |
| | ハンドウイルカ | 52/47 | 66 | 75 | 97 | 93 | 77 | 38 | 40 | 73 | 68 | 35 | 43 | | |
| 和歌山県 | マダライルカ | 70/70 | 13 | 5 | 16 | - | 3 | 7 | 2 | 12 | 4 | 18 | - | | |
| | カマイルカ | 36/36 | - | - | - | - | 7 | - | - | 2 | - | - | - | | |
| 和歌山県 | マゴンドウ | 34/34 | 90 | 56 | 79 | 62 | 54 | 34 | 46 | 25 | 47 | 18 | 9 | | |
| | ハンドウイルカ | 5/5 | 10 | 12 | 4 | 1 | 4 | 1 | 3 | 3 | 3 | - | - | | |
| 和歌山県 | オキゴンドウ | 20/20 | 1 | 5 | 4 | 5 | 1 | - | 3 | - | - | - | 1 | | |